

科目名 (Eng)		経済学演習 I (Economics Practice 1)								
担当教員		米本 清								
対象学年等		学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
		コミュニケーション 情報学科	4	通年	必修	2	(60)	専門	A	
目標基準 との対応	福島高専の教育目標との対応:(B-2). (B-4関). (C-1). (D-1).									
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応:3).									
	JABEE基準1(1)との対応:c, d(1), d(2), d(4), g, h									
授業の概要と方針		実際の経済問題と関連付けながら、経済学、特にマクロ経済学の基礎理論を学習する。								
到達目標		①GDPの決定要因を理解する。 ②乗数理論を理解する。 ③IS-LM分析と財政・金融政策の理論を理解する。 ④マクロ経済学の応用分野に関する基礎知識を習得する。								
授業計画										
前期	週	授業項目			理解すべき内容				準備学習	
	1	導入(1)			経済学とは何か・マクロ経済学とは何か				各章ごとの 課題を行う	
	2	導入(2)			マクロ経済学の概念					
	3	GDPと物価(1)			国民経済計算					
	4	GDPと物価(2)			マクロ経済の循環					
	5	短期と長期(1)			短期と長期					
	6	短期と長期(2)			長期均衡					
	7	所得の決定(1)			消費関数・投資関数					
	8	前期中間試験							各章ごとの 課題を行う	
	9	所得の決定(2)			財政政策と乗数					
	10	貨幣の需給(1)			貨幣需要					
	11	貨幣の需給(2)			貨幣供給					
	12	IS-LM分析(1)			IS曲線					
	13	IS-LM分析(2)			LM曲線					
	14	IS-LM分析(3)			均衡の分析					
後期	15	前期のまとめ			期末試験の講評と前期のまとめ				各章ごとの 課題を行う	
	16	国際マクロ経済学(1)			国際収支と外国為替					
	17	国際マクロ経済学(2)			マンデルフレミングモデル					
	18	短期と長期のモデル(1)			短期のモデル					
	19	短期と長期のモデル(2)			長期のモデル					
	20	物価水準(1)			各総供給曲線					
	21	物価水準(2)			価格の調整速度					
	22	インフレとデフレ(1)			フィリップス曲線					
	23	後期中間試験								
	24	インフレとデフレ(2)			インフレーションに関わる理論					
	25	経済成長(1)			新古典派成長理論					
	26	経済成長(2)			内生的成長理論					
	27	消費と貯蓄の理論			消費と貯蓄に関わる応用理論					
	28	投資の理論			投資に関わる応用理論					
	29	マクロ経済学の新潮流			新しいマクロ経済理論					
	30	後期のまとめ			期末試験の講評と後期のまとめ					
試験について		中間試験は授業時間中に50分間の試験を実施する。期末試験は50分の試験を実施する。								
評価方法		定期試験の成績80%、課題20%として総合的に評価する。								
教科書		『入門マクロ経済学』中谷巖(日本評論社)								
参考書		『新版ミクロ経済学』嶋村紘輝(成文堂)								
関連科目										
履修上の注意		各章の終了時に課題を出す。								